



Rotary
Club of KOBE EAST



The Rotary club of Kobe East **BULLETIN**



神戸東ロータリークラブ会報

No.401 2024-2025 No.1

表紙絵：太原 震也元会員

会 長／神田 孝平 副会長／松井 照男 幹 事／小林 一也
広報委員長／柳川 晃良 副委員長／池田 知聡
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日

クラブ会長テーマ **ENJOY ROTARY with TRADITION**
“伝統と共に楽しもうロータリーを”



RI President
STEPHANIE A. URCHICK
2024-2025年度国際ロータリー会長





2024-25 年度 神戸東ロータリークラブ

第 71 代会長 神田 孝平
理事

第 71 代会長を仰せつかりました神田でございます。どうぞ宜しくお願い致します。

今年(2024-25)の RI 会長は、ステファニー A. アーチックさん(米ペンシルベニア州 McMurray RC 所属)です。その RI 会長の今年のテーマは「The Magic of Rotary」(ロータリーのマジック)です。多くの人々を救うロータリーの力を認識してこれをさらに広めるように呼び掛けています。「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです。」とおっしゃっています。

2680 地区の今年のガバナー矢坂誠徳氏の地区方針は、ALL 2680 ROTARIAN'S Heartwarming Rotary 心から心へのメッセージ 手に手つないでロータリーのマジックを実践しよう です。

神戸東ロータリークラブの今年の会長方針は

ENJOY ROTARY with TRADITION

伝統と共に楽しもうロータリーを

とさせて頂きました。

会員の皆様にとって居心地の良いクラブ、楽しいクラブを皆様と共にめざしましょう。

一人でも多くの会員の出席の下、親睦と奉仕活動を皆様と共に頑張りましょう。

これまでのロータリーの歴史を学び、未来に向かってより良いクラブを皆様と共に築いて参りましょう。

我が神戸東 RC は 1954 年に創立し本年 4 月に 70 周年を迎えました。

今後 80 年、100 年に向けて、これまで紡いできた歴史と独特な雰囲気を維持しつつ、新しい時代に向けて変化させるべく努力していく使命を感じています。こうした事を会員の皆様と一緒に考え、行動していく為にはクラブが会員にとって帰属意識を感じられる居心地の良いクラブ、楽しいクラブであり続ける事が基本であると考えます。

ロータリーは楽しくなくてはなりません。ロータリーの活動は楽しくなくてはならないと考えます。

今一度、親睦を重視すると同時に、会員の皆様にとって楽しいクラブであるか、また誇れるクラブであるかを考え、お互いに遠慮せずに話し合い、修正すべきは修正し、今年一年楽しみながら例会をはじめ、各種イベント、奉仕活動に積極的に参加し楽しいクラブであり続けられるよう工夫し、努力して参りたいと思います。皆様と共に。

明るく、楽しく、元気良く。

どうぞ宜しくお願い致します。





副会長
理事
クラブ管理運営委員長
松井 照男

本年度、副会長に就任させて頂きました松井でございます。

このような大役は、初めての事で、少し戸惑っておりますが、しっかりと勤めを全う致したく頑張っていく所存でございますので、皆様方の益々のご協力を宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度の会長方針にある「伝統と共に楽しもうロータリーを」に基づき、神田会長の屈託のない明るさをより一層ひきたつよう、又、一年間、会長が笑顔でご奉仕できるよう、しっかりとサポートに努めたいと考えております。

我がクラブは、今年70周年を迎え、71年目に突入いたしました。2500年前に孔子が言った言葉で「古いものをたずねもとめて新しい事柄を知る」との意味で「温故知新」という言葉があります。又、同じような有名な言葉に、ドイツ帝国の初代宰相ビスマルクの言葉に「愚か者は経験から学び、賢者は歴史に学ぶ」とあります。

まさしく、会長方針にある伝統を楽しもうの意味は、それではないかと推察します。ただ、近年めまぐるしく変わる世の中に対して、ロータリークラブの取り組むべき道は、大きく様変わりする、転換期に当たっているのではないのでしょうか、会員の目減りは、会社でいう倒産を意味します。

50年から100年存続する会社の確立は0.96%とあります。我がクラブは、71年目を迎え、親クラブの神戸RCクラブは、100年目を迎えようとしております。

では、生き残れる会社の条件として、一般的に言われていることとして「社会の情報の変化に対応できる」「価値(バリュー)を進化させ続けている」「起こり得るリスクや失敗を想定し対策を講じている」「人材の成長や育成に力をいれている」などであります。ロータリークラブに照らし合わせ参考にするべきではないでしょうか。古きを学び、新しいことにチャレンジできる体制づくりが必須と考えております。

これこそが、前年度樋口会長方針にあった、「未来に向けて頑張ろう」ではないかと思われまます。楽しいことが勿論、大前提ではありますが、ロータリー会員一人一人が、より一層ロータリアンとしての誇りを持ち、例会出席は、「義務でなく権利である」と思ってもらえるような、クラブ運営を行っていきたいと思います。多くの会員が、ロータリー会員としての権利を大いに活用して頂き、他クラブ会員との交流あるいは、地区事業の奉仕への積極的参加も促し、人脈の構築になればと考えます。

最後になりましたが、クラブ運営委員長として、管轄する6つの委員会(出席、親睦、家族、週報、唱歌)がありますが、全ては、会員の維持とクラブの一体感を目標としており、コミュニティー強化の手法と考えます。コミュニティーが充実すれば相互扶助の精神が生まれ、ルールが守られ、しいては、我がクラブを共に育てていく一体感が生まれるものと考えます。

その為には、より多くの会員に参加してもらわなければ目標が達成できません。

興味をそそる楽しく、又、ためになる企画と魅力ある委員会運営をしっかりとサポートをしまいりますので皆様方には、最大なるご支援とご協力をお願いいたしまして就任のご挨拶にかえさせていただきます。



幹事
理事 小林 一也

2024-25年度の幹事を仰せつかりました小林です。

入会してまだ5年しかたっていない私にとって、大先輩が多数おられまさに70年の長きにわたる伝統や慣習のある神戸東RCの幹事の大役を仰せつかるのは身の引き締まる思いです。経験不足、知識不足による失敗や至らぬところが多々出てくると思いますが、ぜひどんどんご意見ご叱責を頂きますようお願いいたします。

逆に知らないからできることもあるかもしれません。川崎重工業というそれなりの大組織で、新入社員から始め経営の一端をになう立場まで40年超の会社員生活を過ごしてきました。当クラブに入会したときは、今までの会社員生活とは全く異質な集団に参加することができ、わくわくしていました。入会して5年がたった今、少しはクラブの事を理解できてきた時点で、過去の会社員生活での経験を生かせることが有るかもしれません。今までの伝統や格式を損なうような事をしでかすかもしれませんが、その時は是非ご指摘を頂きより適切な方向に進めていきたいと思ひます。

会長方針の「ENJOY ROTARY with TRADITION」は私自身も非常に共感できるテーマだと感じています。

まずは楽しくなければ神戸東ロータリークラブに所属している意味はありません。しかしただ楽しい

だけを追求するのであればロータリークラブである必要はありません。なぜ神戸東ロータリークラブに所属しているのかをもう一度皆さんと考えたいと思います。そのためには過去の伝統を勉強することから始めるのが確実だと思います。先輩方の70年に渡る多くの議論や試行錯誤の結果として現在の神戸東RCが築かれたのだと思います。先輩方が築いてきた伝統を十分に理解した上で時代の変化を見据え変えるべきは変える、守るべきは守るという作業が必要です。

会長方針にあるTRADITIONの意味を常に考えつつ、ROTARYをENJOYしていきたいと思ひます。

幹事就任に当たり、地区主催の研修が色々と開催されました。その中で八坂誠徳2024-25年度ガバナーが繰り返し仰っていたのが、「地区（委員会）の目的は、ロータリークラブを強化し支援することである。」という一節です。これは地区の運営方針の最初に掲げられています。今まで地区と各クラブの関係性がもう一つよく理解できていなかったのですが、この話を聞いて非常にクリアになりました。地区は各クラブが発展するための支援を行うものだと理解しました。幹事の仕事をやっていく間にこのような経験や理解が深まっていくことを楽しみにしています。

ご存じの通り会員数が減少しています。今年度は103名からの年度開始です。ホテルオークラでの例会開催、事務局設置、各種事業の継続を維持するためには110名から120名の会員が必要です。現に今年度予算を編成するに当たりいくつかの委員会には予算の減額をお願いせざるを得ませんでした。予算の面だけでなく、やはり神戸東ロータリークラブの活性化を図るためにも最低110名の会員が必要だと考えています。そのためには会員全員が新入会員の勧誘に協力していただくとともに、現会員の退会をなんとしても最小限に抑える必要があります。例会に出てこれない会員や退会を考えていそうな会員がおられたら是非声をかけて例会や行事に参加するよう促していただきたいと思ひます。

1年間どうぞよろしくお願ひいたします。



国際ロータリー第 2680 地区
ガバナー 矢坂 誠徳

神戸東ロータリークラブの皆様、ご紹介を賜りました 2024-25 年度のガバナーを拝命させて頂いております、神戸西ロータリークラブ所属の矢坂誠徳でございます。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

11 時 15 分より神田会長・小林幹事と私たち 2 名にて会長・幹事懇談会の時間をもたせて頂きました。

特にご丁寧な神戸東クラブの現況報告を拝聴させて頂き、流石に地区 2 番目の会員数を誇るクラブなので全てにおいて、万全の運営をされています。

私個人的にも以前より大変お世話になっております会員様が多くて今日は緊張致しております。

私の大好きなクラブで活気に満ち溢れておられます。

さて、本年度の国際ロータリーの「ステファニー A. アーチック」会長のテーマは、THE MAGIC OF ROTARY「ロータリーのマジック」です。

月信の第 1 号の P2 にも記載しておりますので、ご参照いただければと思いますが、皆さんは、このアーチック会長のロータリーを創りだし、実行する立場です。

様々なロータリーのマジックが実現するには、しっかりと種を仕込む必要があります。

会員維持増強・職業・社会・国際・青少年の各奉仕活動、クラブでの管理運営それ以外の活動にも種

を仕込む過程が重要であり、仕込みによって、より善いマジックを生み出す事が出来るのです。

ここまでお話致しますと、賢明なロータリアンの皆さんはロータリーのマジックを使って披露してみたいとの熱い思いが湧き出ることと思います。

この一年間様々なロータリーのマジックを是非披露してください。

皆さんこそが、超一流のマジシャンなのです。

また、地区の行動指針は、

ALL 2680 ROTARIAN'S

「Heartwarming Rotary」

心から心へのメッセージ

手に手つないでロータリーのマジックを実現しようとしております。

今よりもっと温かく、居心地のよいクラブを作り上げようではありませんか。

みんなが帰属意識を持つには、DEI+Belonging（ビロンギング＝帰属意識）

D：ダイバーシティ、多様性は誰もが。

E：エクイティ、公平さは笑顔で

I：インクルージョン、包摂は居心地のいいクラブメンバーの誰もが、公平で、居心地が良ければ、クラブへの帰属意識は当然高まります。

それが、既存会員への価値の提供であり、新会員の獲得につながり、会員の退会防止になります。

クラブの活性化は奉仕活動の拡大となり、ロータリーの公共イメージ向上になります。

そして、国際ロータリーの行動計画と安行ガバナー年度に策定した地区の行動計画を実践する、行動計画の推進者となって下さい。

その他にも、メンタルヘルスに関してのこと、ポリオ根絶活動、平和の推進、会員増強様々な活動を通してロータリーのマジックを実践して行きましょう。

メンバーの一人一人が心から心へのメッセージを発して手に手つないでロータリーのマジックを実現いたしましょう。

「Heartwarming Rotary」はあなたの手から！

1 年間 何卒よろしく願い申し上げます。



職業奉仕委員長
理事 古津 彰宏

このたび職業奉仕委員長を拝命いたしました古津です。これからの1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

私がロータリークラブに入る前に、先輩に「ロータリーの奉仕活動ってどのようなものですか？」と尋ねたことがあります。その際、先輩は「ロータリーの奉仕とは職業奉仕が基本であり、職業奉仕とは自分の仕事を真面目に一生懸命することで、それが社会に奉仕することに繋がる」と教えてくださいました。それを聞いた私は「なんて都合のいい考えだろう」と感じましたが、今思えば浅はかな解釈でした。

私がロータリーに入った理由ですが、特に明確な目的があったわけではありません。奉仕活動にも興味はありましたが、それよりも神戸東RCの立派な方々と知り合い、話を聞くことで仕事のモチベーションが上がり、人生の参考になるだろうと期待していました。その期待は全く裏切られることなく、色々と刺激を受け楽しく過ごさせていただいております。しかし、職業奉仕についてはあまり考えていなかったのも事実です。

そんな私ですが、前年度の澤田前職業奉仕委員長のもとで副委員長を務めさせていただきました。委員会には超強力メンバーが揃っておられて、その方々のロータリー談義をそばで聞き、またセミナー

に参加し本を読んで勉強した結果、今では職業奉仕の理念こそがロータリークラブの根幹であると考えようになりました。職業奉仕の理念に共感し実践している方がロータリークラブに入るのが本来の姿だとも思いました。現実には、私のような理由で入る方も多いでしょう。しかし、入会したからには職業奉仕の理念を理解するべきだと思います。

私のようなロータリー歴が浅い人は、その職業奉仕の理念を理解し実践することで、ベテランの方々が当然持っておられる神戸東クラブに所属していることの誇りとロータリアンとしてのプライドが育まれていくのではないかと思います。

では、その職業奉仕の理念とは何かということですが、正直なところ、私もまだ完全には理解しておりません。様々な方々が職業奉仕について話されますが、言っていることが微妙に異なるため混乱しています。それだけ哲学的で奥が深いということでしょう。しかし、少しずつ本質が見えてきた気がします。

ロータリーの歴史も含めてロータリー談義をするのは面白いですし、これからの1年間、ロータリー情報委員会や他の委員会と連携して、ロータリー談義の会を企画し、楽しい話の中で職業奉仕の理解を深めていきたいと思っています。

職業奉仕といえども「ENJOY ROTARY with TRADITION」ですから、楽しく進めていきたいと思っています。

これからの1年間、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。





社会奉仕委員長 光葉 應宏
理事

会長方針の『ENJOY ROTARY with TRADITION 伝統と共に楽しもうロータリーを』に基づき、地域の支援学校・養護学校への支援事業と兵庫県内の恵

まれない親子への支援を通じて、社会における認知度、相互の理解及び活躍出来る機会の向上に貢献することで、ロータリーの中核的価値観である多様性への理解を促進し、未来への懸け橋を築く事を目標に、神戸市立青陽灘高等支援学校生の招待ボウリングと神戸市立友生支援学校生の招待ボウリングを行う。

神戸東ロータリークラブの招待ボウリング事業は1981年八馬会長年度から始まり、今年度で43年目という長い歴史があります。この年はポートピア81にも高校生を招待した記録も残っており、活発な社会奉仕活動が行われた事が伺えます。

本年度、プロバスクラブ活動支援と子供食堂支援を活動目標として楽しく活動して行く所存ですので、会員の皆様の御協力を宜しくお願い致します。



四大奉仕委員長挨拶
 職業奉仕委員長 古津 彰宏
 社会奉仕委員長 光葉 應宏
 国際奉仕委員長 後藤 章輔
 青少年奉仕委員長 芳賀 博之



国際奉仕委員長
理事 後藤 章暢

今年度、2024 - 2025 年度神戸東ロータリークラブ国際奉仕委員長を拝命しました、後藤章暢でございます。よろしくお願い申し上げます。

基本方針としましては、本年度の会長方針の「ENJOY ROTARY with TRADITION: 伝統と共に楽しもうロータリーを」を基に、国際奉仕委員会活動を通して、神戸東 RC としての RI の理念の国際理解、国際親善、国際平和を推進していく具体的な活動を確立したいと思っています。

具体的活動内容としましては、

- 1) 地区補助金による VTT 「小児外科領域におけるベトナム医療交流支援事業」を実施します。
研修実施場所：① Vietnam National Children Hospital
②神戸大学医学部附属病院、兵庫県立こども病院
研修実施期間：① 2024 年 10 月 1 日
～ 2024 年 10 月 6 日
② 2024 年 11 月 1 日
～ 2024 年 11 月 10 日
- 2) VTT 「小児外科領域におけるベトナム医療交流支援事業」の実施に伴い、当クラブからの随行旅行を企画、実施を計画します。
- 3) 2025 年度の国際大会が、カナダ（カルガリー）

で、2025 年 6 月 21 日～ 25 日に開催される為、国際大会への参加企画を行います。

- 4) 国際間の理解、親善、平和を推進するためにクラブの活動を通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うよう広報・啓蒙に努めます。
- 5) シスタークラブのあり方を検討し、その交流の仕方などを再考します。
- 6) 委員会内の親睦をはかり、国際奉仕活動の理解を広めます。

この 6 つの項目を今年度の重要活動事項に挙げています。

今回の地区補助金による VTT 「小児外科領域におけるベトナム医療交流支援事業」は現在 2680 地区の承認があり、RI に申請し、その承認待ちの段階です。本事業は当クラブが提唱し、神戸第 1、神戸第 2、西播第 1 グループの有志クラブを協同提唱クラブとして計画されています。研修実施期間中に 11 月 9 日には本事業の総括になる報告会を神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて計画しています。本事業に連動させて、当クラブからの随行旅行を計画し、多くのクラブメンバーの参加をお願いし、10 月 4 日にはハノイでの神戸東 RC ナイトを計画しています。

ポストコロナ時代になり、今年度は今まで以上に活発な国際奉仕活動ができることと期待しています。多くの神戸東 RC の会員が参加、協力できる将来の神戸東 RC の国際奉仕活動の礎を計画できればと思っています。国際奉仕委員会委員の皆様には急なお願いにもかかわらず、快諾していただき、誠にありがとうございました。委員会以外の神戸東 RC の会員皆様の当委員会への活動参加を歓迎し、同時にご理解とご協力をお願いいたします。この一年間、よろしくお願い申し上げます。



青少年奉仕委員長
理事 芳賀 博之

今年度青少年奉仕委員長を仰せつかりました芳賀博之です。どうぞ宜しくお願い致します。

神田会長年度方針である「ENJOY ROTALY with TRADITION 伝統と共に楽しもうロータリーを」を実現するため会員の皆様とともに楽しく行っていける事業をすすめてまいりたいと思います。

また次世代のリーダーとなる青少年の育成にも取り組んでまいります。

具体的な活動としましては、当クラブとして今年で3年目となります「Kobe っこ親善ラグビー大会」への後援です。

子供の参加人数約500名、保護者関係者などを併せますと2000名以上の大規模な大会になります。

こちらは神戸市内の認定こども園・保育園各施設間の交流をはかり園児の心と身体の成長と仲間意識の向上、そして助け合いの精神を育むすばらしい大会であります。

私自身、ラグビー経験者ということもあり毎年この大会に行かせていただいておりますが、子供たちがグラウンドを駆け回っている姿を拝見しますと改めてラグビーというスポーツのすばらしさ、そして子供達の笑顔に感動を覚えます。この大会はかならず青少年育成につながる事業と信じております。

今年は11月21日（木）10時から、しあわせの村芝生の広場で開催いたします。

大会のイメージ写真をまとめましたのでご覧ください。

さい。

園児たちが揃いのユニフォームを着て戦っているかわいい姿をぜひ一度見に来て下さい。応援の保護者の方々も大変盛り上がっています。

そして二つ目の活動として「中央区少年団親善野球大会」への協賛を考えております。

こちらは神戸市中央区の小学生が区内の仲間と友情を深め日頃の練習の成果と今後の希望を交換できるよう支援するというもので、この事業は古い会員の皆様にご存じかと思いますが以前当クラブで大会立上げから2016年の第9回大会まで行っておりました協賛を8年ぶりに復活させようというものです。

今年度の大会詳細につきましては改めてご案内させていただきますこととなります。

こちら大会のイメージ写真をご覧ください。

こちらは2016年に行われた第9回大会のもようです。

当時の横山会長が始球式をされたりトロフィーの授与を行っています。

両事業とも後援はクラブとしておこないますが会員皆様の個人的な協賛広告も募集いたします。こちらにつきましても改めてご案内申し上げますので是非ご協力を宜しくお願い致します。

そして最後に青少年リーダー育成の一環として今年もRYLAセミナーへ参加者を送りたいと考えております。

このセミナーは毎年瀬戸内海の余島にあります神戸YMCA余島野外活動センターにて3泊4日の共同生活のもと、講義、レクリエーション等を通じて青少年リーダーの育成を行い、その他にも倫理、奉仕、親睦についても学ぶとができるというものです。

以上様々な青少年奉仕事業を今年も予定しておりますが会員皆様のご協力、ご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

1年間どうぞ宜しくお願い致します。ありがとうございました。



第1回会員親睦会を海風に吹かれながら おいしいバーベキューで大いに楽しみました



会長方針の「伝統と共に楽しもうロータリーを」に沿って会員相互の親睦を楽しめることを目的として、第1回会員親睦会を令和6年7月23日 火曜日 受付5時30分、6時開宴で神戸メリケンパークオリエンタルホテルテラスでバーベキュー、およびビッフェで行いました。

参加会員は50名で夕方のテラスで海風に吹かれながらの食事もし楽しいものでした。

あと女性のアテンダント10名も参加で皆さん大いに笑顔、笑い声、楽しい談笑で大いに盛り上がっていただいて会員同士の親睦に貢献できたものと思います。

多くの会員の御協力をいただき、ありがとうございました。

(親睦委員長 田中 義明)





池添 誠

—大和証券神戸支店—

みなさん、こんにちは。私は6月より神戸東RCに加入した、大和証券神戸支店長の池添誠です。本日は皆様の貴重な時間を頂き、感謝しております。自己紹介とともに、私の生い立ちや趣味についてお話しいたします。

私は1973年生まれの51歳で、大阪市都島区出身の関西人です。公立の小中高を経て大学に進学し、野球部に所属していました。神戸東ロータリークラブの野球部で甲子園プレーの機会があると聞き、参加できればと思いますが、私の体力は期待しないでください。

趣味は9年前から御朱印集めをしており、現在13～14冊目です。きっかけは奈良支店長時代の寺院訪問でした。また、日本のドラマ鑑賞も好きで、寝る時間を削ってほぼすべての作品を見ています。ゴルフも仕事の一環として行いますが、上達しません。また3年前にダイエットを開始し、現在は7～8キロ減で落ち着いています。

社歴について、H9年に大和証券に入社し、これまで10回の転職を経験しました。特に本社エクイティ営業部長時代がキャリアの絶頂期で、本店営業部時代は地獄のような日々でした。名古屋支店時代も厳しい環境でしたが、現在は神戸支店長を務めております。ロータリー歴は横浜戸塚RCに2年、東京町田RCに3年所属し、今回が3クラブ目です。神戸東RCの皆様からは温かく迎えて頂き、感謝し

ています。至らない点多々ありますが、よろしくご指導ください。

ところで最近、多くの経営者の方が円安で困っているという声を聞きます。そこで「現在の円安の理由」と「今後の為替の見通し」について考えてみたいと思います。

まず、短期的には日米金利差が影響します。東大の伊藤元重名誉教授は、為替の基準レートを110円とし、日米金利差から考えると今の為替水準は違和感がないとされています。ただし、米国が利下げ、日本が利上げで金利差が縮小すれば円高になる可能性があります。

次に、日本の財政状況と金利についてです。日本の政府債務は2024年3月末で約1297兆円、GDP比債務残高は252%と世界第2位です。当然、金利が上がれば利払いが増え、財政が一層苦しくなります。また日銀の為替介入原資である外貨準備高も約1兆2918億ドル（約200兆円）ありますが、これが減少すれば円の価値が下がるリスクが高まります。

最後に、国力と為替の関係について。通貨は国力を表し、日本の影響力は世界のGDP比で1995年の18%から現在は4%程度に縮小しています。新たに円を買う理由は減っており、最近ではデジタル赤字も大きな問題です。対して米国は世界のGDP比で25%を維持し続けており、強いドルを保っています。伊藤教授は、110円の基準が変わってきており、日本の影響力低下が続けば現在の為替水準の維持は難しくなるのではとのことです。

さらに、日本の人口推移についてです。2050年には9515万人、2100年には4771万人、低位推計では3770万人と大幅に減少する見通しです。人口減少が進行している中、様々な業種の経営者が将来に危機感を抱いています。経営者としてリスク管理を考える際に、これらのデータを参考にいただければと思います。

金融を通じて日本の経済発展とリスクへの備えを支援するのが我々証券会社の社会的使命です。何かご質問があればお気軽にお声がけください。なお、投資にはリスクが伴い、自己責任でお願いします。ありがとうございました。

余韻会（俳句同好会）

令和六年六月二十五日 ホテルオークラ神戸 桜の間

平和恋ふ水の地球や草茂る 奥田 好子

気がかりな隣家見る見る草茂る 角田 伯堂

草茂る丘は子どもの遊園地 塚本 宗哲

玉葱や甘み残して煮崩れる 吉井 聖倅

古民家の軒の賑はひ新玉葱 神田 淡京

特大の新玉葱や淡路島 小林 一也

余韻会（俳句同好会）

令和六年八月六日 ホテルオークラ神戸 桜の間

覚悟してこの昼空へ大日傘 奥田 好子

ご褒美の冷酒一合一気呑み 角田 伯堂

風さやか冷えたワインに手が伸びる 塚本 宗哲

冷酒に笑顔溢れる佳き仲間 吉井 聖倅

墓地に入り冷酒を注ぐ亡き友と 神田 淡京

枝折戸を出でて仰いでさす日傘 小林 一也



絵と文 東彩会 小倉宗夫

「カサブランカ」

「カサブランカ」と云う名は、アフリカ、モロッコの最大都市でスペイン語で「白い家」の意です。ですから日本国内で同じ形状の大きな赤い花に「カサブランカ」と表示している店がありますが、それは間違いです。その淡麗な姿と香ぐわしい香りに魅せられて油彩にして見ましたが、白と緑ばかりの絵になってしまったのであり合わせの色をバックにして、白い花びらを引き立ててみました。

CONTENTS

会長就任挨拶	1
副会長就任挨拶	2
幹事就任挨拶	3
ガバナー公式訪問	4
四大奉仕委員長就任挨拶	5
第1回会員親睦会	9
新会員自己紹介	11
余韻会	12

編集後記

2024-2025年度の第1号の会報をお届けしました。

神田会長の会長方針「ENJOY ROTRY with TRADITION” 伝統と共に楽しもうロータリーを”」のもとで71年目がスタートしました。

理事および役員の方々の就任挨拶からはじまり、第1回会員親睦会も盛大に行われ、国際ロータリー第2680地区ガバナー矢坂誠徳様にご訪問いただき、あっという間に3ヶ月が過ぎようとしています。この会報では神戸東ロータリークラブの活動を記録、発信できるようにいたします。会報掲載の原稿依頼を快く承諾して下さいました皆様に感謝申し上げます。

広報委員長 柳川 晃良